

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	開設当初からの入居者が1/3になり、新規に入居の方が半数以上になっている。また、高齢化が進み、2/3の入居者が90歳前後と、益々有する身体能力に差が付き、個別の対応が必要と思われる。	入居者個別の身体能力の把握に努め、心身の状態変化に注意し、現状の日常生活を維持する。	毎日、ほぼ決まった時間に健康チェック(バイタル測定、排泄状況等)心身状況の確認を行い、体調変化の早期発見に努める。それに伴い、日々の体操に加えて、個別機能訓練を実施する。	12ヶ月
2	10	高齢に伴い、難聴の入居者とのコミュニケーションが難しいことがある。また、ご家族から率直な意見を伺う手段を設けていない。	難聴の入居者とのコミュニケーションとして筆談や、耳元で会話するなど、個別対応する。ご家族の思いを把握できるよう「意見書箱」を設置する。	・他入居者、職員とのコミュニケーションの手段として、個別にホワイトボードを用意し、意思疎通を図る。 ・入居者家族などが来所された時、気軽に意見できるように「無記名」の意見書箱を出入口に設ける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。